附表二　年　表

	外交	政治社会	思潮	国際事象	小村年譜
17（明治）（西暦）1884	1・29 漢城旬報事件 2・16 制視察ノ為欧兵卿大陸軍起山ル 4・12 洲ニ赴ク海底電信線保護ニ加入ス 6・30 日仏調印政府ノ為替郵便条約 6・30 条約ヲ布哇ニ 12・4 朝鮮ニ人ヲ派シ甲申ノ乱ニ関スル日本ン政府ア代理人ヲ移民事ル 12・6 竹添弁理公使ヲ出ス 12・21 井上馨等ヲ派シ朝鮮ニ特命全権大使ト為シテ京城ニ駐ス	3・4 三池炭鉱囚人騒擾事件 3・15 群馬事件起ル 5・13 地租条例改定 5・26 兌換銀行券条例定ル 7・7 華族令ノ公侯伯子男爵ニ例制定ス 9・23 自由党ノ富山事件等ノ波及ス 10・29 自由党ノ解散ヲ起ス 10・31 埼玉県秩父郡ノ貧民ノ蜂起ニ決議シ 11・8 飯田事件ノ極ニ達スル 是年不況	○西村茂樹「日本講道会」設立 ○「時勢論」田口卯吉 ○角藤定憲大阪ニ壮士芝居ヲ始ム ○「春鶯転」直彦訳 ○「自由太刀余波鋭鋒」 ○「坪内消遥訳「牡丹燈籠」円朝 ○前田正名編「興業意見」頒布 ○「民法之骨」小野梓	5・12 仏清間ニ安南問題ニ関シ李フ約調印ル ニ エ条 6・26 露鮮開戦ニ安南ニテ仏清ト締結ス通商条約 7・ 独国ニ植民開始アリカ 8・23 仏軍艦福建ヲ全滅ス 10・19 仏清ニ令ス長官ク艦隊司ベ1宣言1台湾封鎖ル	三十歳 6・30 任外務権少書記官、公信局勤務被仰付
18 1885	1・9 日鮮城条約 1・28 第一回布哇渡航移民ヲ特発ス 2・24 伊藤博文横浜ヲ命ジ清国ニ使ス	1・25 大山陸軍卿等ノ欧洲ヨリ帰朝ニ際シ各府県ニ行ヲ調査ス 4・6 三菱、共同運輸両会社ノ競争ヲ達ス 6・	○「硯友社」結成 ○「当世書生気質」「小説神髄」坪内消遥 ○「佳人之奇遇」柴四郎 ○「女学雑誌」創刊 ○「国憲汎論」小野梓	1・15 仏緬講和条約調印ス 2・26 コンゴ自由国成立ス米国ハ1ヴ大統領ニ就任ス 3・4	三十一歳 4・14 翻訳局勤務被仰付 4・14 公信局兼務被仰付 12・26 翻訳局次長心得

19 1886

3・21	万国郵便聯合ニ加入ス
4・18	天津条約第入条印ス
4・25	新潟条約ニ案文ヲ提示シ各国ニ調印ス
7・21	天津条約ニ提ヲ撤シ軍隊ヲ退ク
11・23	大憲井上馨外務大臣ト鮮国ニ対シ朝鮮国ニ事変ノ善後ヲ太郎ヲ特派シ朝鮮国ニ捕虜等ノ撤兵ヲ要求ス
12・21	日本郵船会社ハ鮮国ニ電線ヲ敷設シ海底ノ約ヲ結ブ
12・22	調印ス
1・28	条約改正調印ノ犯人ヲ引渡ス
4・29	日本国ト米国トノ条約改正調印ス
5・1	井上馨外相ヲ免シ伯爵大隈重信ヲ外務大臣ニ任ス
	渡辺国武大蔵大臣ノ議ニ基キ各国公使ニ対シ条約改正案ヲ提出ス
	井上馨外相ノ提出シタル条約改正案ニ対シ各国公使ノ意見ヲ聴ス
	回答ヲ各国公使ニ交付ス
6・5	赤十字条約ニ加入ス
6・15	玉突ノ禁令ヲ解ク
6・12	亡命者ニ対スル処置ニ関シ各国ノ意見ヲ聴ス
7・3	第一回帝国議会ヲ開ク
4・28	華族令ヲ定ム
4・22	海軍官制ヲ定ム
3・1	帝国議会ニ対シ内閣ヲ置ク
	布告第一号ヲ以テ各国公使ニ対シ条約改正案ヲ撤回ス
2・	長崎ヲ開港シ日本郵船会社ノ汽船ヲ出帆ス
	日本郵船会社ノ汽船ヲ出帆ス
1・26	北海道庁ヲ置ク
12・22	立憲政体ヲ定ム
10・1	共同運輸会社ト三菱会社ト合併ス
	日本郵船会社ノ汽船ヲ出帆ス
	反省雑誌創刊
	東洋学会雑誌創刊
	演劇改良会設立
	雪中梅
	未来記
	未来記
	広二十三年
	鉄腸
	内地雑居未来ノ夢
	新体詞選
	山田美妙
	坪内消遙
	演劇改良意見
	謙澄
	婦人矯風会創立
	経済原論
	天野為之
	「貿易備考」第一冊大蔵省編
1・1	英国ビルマ併合ス
2・12	英国ト第三次グ条約ヲ締結ス
4・6	英国ト独逸ト南洋諸島ノ分割協定成ル
4・25	仏清間ノ安南通商条約成ル
6・9	仏清文天津条約ヲ締結ス
7・24	英国ト清国トノ条約ニ和ス
8・25	独逸ト清国トノ間ニ結ビタル天津条約ヲ締結ス
10・3	朝鮮ニ大君ヲ立テ内閣ヲ組織シ紛争ヲ釈ク
12・17	仏ト清トノ間ニ天津条約ヲ締結シ安南ノ保護ヲ得ル
	巨文島ヲ占領シ東洋ノ極東ニ於ケル和平ヲ破ル
	三十二歳
3・	任官
4・10	叙局奏任官
7・8	叙従六位
11・6	願済ミ廃官ニ付セラル
	得被仰付

20 1887

2・8	長崎事件落着ス
3・4	米国ノ軍艦ノ砲撃ニ対シ長崎事件ノ起ル
4・22	条約改正ニ関シ各国ト交渉ヲ開ク
6・1	条約改正ニ関シ各国ト交渉ヲ開ク
8・6	提出シタル条約改正案ニ対シ各国ノ意見ヲ聴ス
8・7	金玉均ヲ小笠原ニ送ル
8・13	清国ト朝鮮国トノ間ニ殺傷事件ヲ生ス
10・24	英国ト清国トノ間ニ紀州沖ニ於テ沈没シタル船ノ救助ニ関シ人命ヲ救ヒ起ス
12・6	長崎ニ於テ英国人ノ起シタル訴訟ニ関シ裁判ヲ開ク
12・8	船舶ニ関シ各国ト協議ス
	条約改正ニ関シ各国ト交渉ヲ開ク
	条約改正ニ関シ各国ト交渉ヲ開ク
	条約改正ニ関シ各国ト交渉ヲ開ク

21 1888

- 1・28 修正案ヲ閣議ニ提出ス
- 2・1 外務大臣 重信
- 7・29 朝鮮人小原金玉均ヲ幌泊ニ移スヨリ十日ニ発ス
- 8・23 英国軍艦長崎ニ入ル
- 11・26 代理公使大隈ヲ相ニ任ス
- 11・30 条約改正案ニ関スル好印象ヲ与フ
- 4・25 市制町村制施行
- 4・30 枢密院伊藤博文ヲ公ニ布ス
- 5・30 黒田内閣成立
- 7・5 同団結ノ主張ニ基キ後藤象二郎ヲ農商務大臣ニ任ス
- 8・16 高島炭坑ノ虐使ニ対シ同団結ノ発生ヲ禁ス
- 10・5 浦上九州ノ農民相ノ退去ヲ命ス
- 4・4 黒田内閣成立ニ際シ伊藤博文ヲ枢密院議長ニ任ス
- 4・30 布告第22号
- 9・17 外務大臣伊藤博文（兼）
- 7・29 条約改正延期会議ヲ延期ス
- 7・18 第一回条約改正会議ヲ十月二十七日ニ延期ス
- 12・25 保安条例ヲ公布ス
- 10・ 同団結ノ処置ニ関スル勅令ヲ発ス
- 9・29 反対者ノ建言ヲ聞キ済生会ノ創立ヲ命ス
- 6・22 欧洲ノ農商務ヲ視察シ帰朝ス
- 12・1 東京、横浜間ノ電話ヲ開ク
- 10・ 「国家学会雑誌」創刊
- 10・ 「花間鶯」刊
- 3・9 独逸帝ウイルヘルム一世崩ス
- 3・12 米国ト条約改正ノ締結ニ関シ移民ノ批准ヲ拒ム
- 5・12 米国北ボルネオ保護領ニ関シ帝国ノ主権ヲ宣言ス
- 6・15 ヒルヒ三世即位ス
- 10・1 米国ノ再来ニ対シ帰国ヲ命ス
- 12・10 露国ノ公債募集ニ応ス
- 12・1 「内地雑居経済論」刊行
- 「国家学会雑誌」創刊
- 「記」松永道一
- 「法規分類大全」刊行
- 「新聞ヲ買収ス」
- 「東京朝日新聞」
- 「めざまし新聞」
- 「あひびき」
- 「あひ」
- 「夏木立」
- 「山田美妙」
- 「孝女白菊ノ歌」
- 「帝室論」
- 「我楽多文庫」
- 「尾崎行雄」
- 「三宅雄二郎」
- 「等」
- 「日本人」創刊
- 「三宅花圃」
- 「杉浦重剛」
- 「内閣ニ提出ス」
- 「広鉄腸」
- 「禾」
- 「条約改正論」
- 「雙葉」
- 「鶯」
- 「めぐり」
- 「落合」
- 「抄」
- 「迷」
- 「亭」
- 「四」
- 「同団結」
- 「政論」
- 「民党」
- 「関紙発刊」
- 「派ノ機」
- 「載」
- 「炭坑夫虐待事件ヲ掲ス」
- 「雑誌」
- 「日本人」ニ高島
- 「直文」
- 「伊藤博文」
- 「田口卯」
- 「吉」
- 「条約改正論」島田三郎
- 「内地雑居論」井上哲次郎
- 「新聞」日本発刊陸実
- 「等」
- 「新著百種」刊行
- 「胡蝶」「山田美妙」
- 「露団々」「風流仏」
- 「幸田露伴」
- 「於母影」「森鷗外」訳
- 「探偵ユーベル」森田思軒訳
- 「小弥太」
- 「保守新論」発刊
- 「等ノ機」関誌「鳥尾」
- 「自由略論」「天井憲太郎」
- 「憲法義解」伊藤博文
- 「条約改正論」田口卯
- 「吉」
- 「条約改正論」島田三郎
- 「内地雑居論」井上哲次郎
- 「次郎」
- 「新聞」日本発刊陸実
- 「等」
- 7・
- 6・14 サモア大統領就任ニ関シ米英独間ニ結ス
- 3・4 米国ハリソン伊関税戦
- 3・3 仏国ノ交趾支那
- 8・13 ロンドン労働者大罷業
- 10・2 テワシントン第一回汎米会議開ク
- 11・15 ブラジル共和国ニ成ル
- 命勃発ス
- 12・2 内閣ニ提出ス
- 有朋欧米視察ニ発ス
- 大臣山県
- 12・27 佐野会計両創立ス
- 1・ 日本郵船会社ノ創立ヲ命ス
- 2・11 帝国憲法発布ス
- 2・ 紙幣ハ現金ニ代ル
- 3・22 後藤象二郎ハ重傷ニ翌日死ス
- 4・30 大阪同盟会ノ分派
- 7・1 東海道全通
- 9・30 天満織工組合ノ同盟罷工
- 10・9 文部省直轄学校ノ教員ニ演説ス
- 10・11 女子教育ノ方針ニ関スル意見
- 10・22 改正条約ニ対シ議長ノ意見ヲ求ム
- 黒田内閣ヲ捧ス
- 「憲法義解」伊藤博文
- 「条約改正論」田口卯
- 「吉」
- 「条約改正論」島田三郎
- 「内地雑居論」井上哲
- 「次郎」
- 「新聞」日本発刊陸実
- 「等」
- 「新著百種」刊行
- 「胡蝶」「山田美妙」
- 「露団々」「風流仏」
- 「幸田露伴」
- 「於母影」「森鷗外」訳
- 「探偵ユーベル」森田思軒訳
- 「小弥太」
- 「保守新論」発刊
- 「等ノ機」関誌「鳥尾」
- 「自由略論」「天井憲太郎」
- 「憲法義解」伊藤博文
- 「条約改正論」田口卯
- 「吉」
- 「条約改正論」島田三郎
- 「内地雑居論」井上哲
- 「次郎」
- 「新聞」日本発刊陸実
- 「等」
- 「新著百種」刊行
- 「胡蝶」「山田美妙」
- 「露団々」「風流仏」
- 「幸田露伴」
- 「於母影」「森鷗外」訳
- 「探偵ユーベル」森田
- 「小弥太」
- 「保守新論」発刊
- 「等ノ機」関誌「鳥尾」
- 「自由略論」「天井憲太郎」
- 「法規分類大全」刊行
- 「開始」

22 1889

- 2・20 条約改正ニ関スル日米通商航海条約調印ス
- 4・19 大隈外相ノ改正案ニ対シ条約改正会議ヲ開キ
- 6・11 伯林上海間ニ電信ヲ開ク
- 8・8 海底電信ニ関スル日独調印ス
- 10・15 条約改正会議ヲ延期ス
- 10・18 閣議ニ催セル改正案ニ対シ
- 10・18 勢力論ヲ開キ
- 10・24 恒喜ノ大隈ヲ爆撃ス
- 11・12 韓国ノ独立ヲ鮮人ニ対シ
- 12・13 露国ノ鏡台ニ難ヲ施ス
- 三条内閣ノ改正案ニ関スル意見ヲ求ム
- 規則ノ改正ニ関スル意見ヲ求ム
- 統計ノ調査ニ関スル意見ヲ求ム
- 1・11 伯爵ヲ発ス
- 3・ 条約改正ニ関スル意見ヲ求ム
- 4・30 大阪ノ同盟会ノ分派ニ対シ
- 7・1 東海道全通
- 9・30 天満織工組合ノ同盟罷工ニ対シ
- 10・9 文部省直轄学校ノ教員ニ演説ス
- 10・11 女子教育ノ方針ニ関スル意見
- 10・22 改正条約ニ対シ議長ノ意見ヲ求ム
- 黒田内閣ヲ捧ス
- 「憲法義解」伊藤博文
- 「条約改正論」田口卯
- 「吉」
- 「条約改正論」島田三郎
- 「内地雑居論」井上哲
- 「次郎」
- 「新聞」日本発刊陸実
- 「等」
- 「新著百種」刊行
- 「胡蝶」「山田美妙」
- 「露団々」「風流仏」
- 「幸田露伴」
- 「於母影」「森鷗外」訳
- 「探偵ユーベル」森田
- 「小弥太」
- 「保守新論」発刊
- 「等ノ機」関誌「鳥尾」
- 「自由略論」「天井憲太郎」
- 三十五歳

23 1890

- 12・24 **外務大臣** 青木周蔵
- 2・28 改正木案ヲ提出シ英国ト約調印ス
- 3・21 日英間郵便為替条約公布
- 4・15 英国ト皇族同族ノ妃ニ入ル
- 6・13 土耳古ト政府ヲ提出シ
- 7・15 英国ト修正案ヲ提出シ
- 9・16 エルトロ沈没ス
- 9・20 荒尾精ノ研究所ヲ開設シ海軍ニ有名ナル人物ヲ養成ス
- 1・21 大井憲太郎等ノ再興自由党結成
- 2・4 文官試験令公布
- 2・28 日本銀行ハ制限外発行ヲ為ス
- 4・26 商法公布
- 5・5 板垣退助ノ愛国公党結成
- 5・17 公布ノ民法ニ及ビ地方制度ヲ定ム
- 6・15 第一回帝国議会開院式ヲ挙行ス
- 7・1 第一回帝国議会ノ会期ヲ短縮シ
- 7・15 自治制ノ次ニ市制町村制ヲ布告ス
- 8・25 民法ノ中ニ財産取得ヲ成立ス
- 10・6 法典ノ中ニ債権ヲ退ス
- 12・24 第一次山県内閣成立
- 12・25 自由党（所謂）再興ス
- 是年 恐慌最初ノ資本主義的
- 12・24 三条内閣成立

○「国民新聞」発刊
○「仏教活論」井上円了
○「舞姫」「うたかたの記」森鷗外
○「おぼろ舟」「已波川」「紅葉」「尾崎」「山田美」
○「伽羅枕」「日本韻文論」
○「妙」
○「日本文学全書」刊行
○「帰省」「宮崎湖処子」
○「大日本農史」「農商務省編」

- 3・17 英国ト西蔵ト間ニ条約ヲ締結シ
- 3・18 独逸宰相ビスマルク辞職ス
- 5・1 最初ノメーデー
- 7・1 英国ト独逸トノ間ニ協定アリ
- 7・2 米国ト反対ヲ唱ヘ
- 8・5 英国ト仏蘭西トノ間ニ条約ヲ締結シ
- 8・11 露国ト保護国ヲ定ム

三十六歳

- 1・10 外務省々令審査委員被命
- 12・8 叙正六位

24 1891

- 10・22 **外務大臣** 青木周蔵ヲ免ス
- 2・2 関税表ノ国際聯合ニ加入シ露国ト条約ヲ締結ス
- 4・27 露国皇太子ノ来朝ニ際シ巡査ヲ以テ親王ヲ傷ツケタル大津事件ニ関シ皇太子ニ謝罪ス
- 5・11 大津事件ニ関シ天皇ニ親ク王子ヲ訪ヒ謝罪ス
- 5・12 天皇ニ親ク王子ヲ訪ヒ謝罪ス
- 5・27 大津事件ニ関シ田中大審院長ニ無期懲役ヲ言渡ス
- 5・29 ニ処シテ三津蔵ニ為京都御所ニ行幸ス
- 7・2 武揚ノ海軍ニ汝昌ノ北洋ニ帰ル

- 10・30 公布ニ関スル教育勅語発渙ス
- 10・10 第一回帝国議会ニ提出スル法案ノ研究ヲ結ス
- 11・9 日本鉄道会社ノ株主ニ対シ配当ヲ為ス
- 11・29 第一回帝国議会開院式ヲ挙行ス
- 12・24 日本郵船会社ノ戸数ニ対シ補助ヲ与フ
- 是年 各地ニ開業ス
- 1・20 貴族院両議院ノ焼失ス
- 1・22 糸価ノ騰貴ニ対シ輸出関税ヲ免ス
- 3・8 東京駿河台ニ請願ノ出ニ対シ成ル
- 3・20 立憲自由党ノ結成ニ対シ自由党ノ解散ヲ命ス
- 5・6 松方内閣成立ス
- 5・22 改正ノ自由党ノ暴徒ニ対シ官庁ヲ襲撃ス
- 11・8 隈重信ノ改進党ノ首領ト会見ス

○「論」「宗教」「井上哲次郎ノ教育時代」
○「教徒ト国家トノ関係ニ出テ基督教ノ発達ス」
○「早稲田文学」創刊
○「及」「理想論」「坪内逍遙」
○「早」「稲田文学」「没理想」「森鷗外」
○「想」「森鷗外」
○「文づかひ」「森鷗外」「露伴」
○「五重塔」「幸田露伴」
○「水沫集」「鷗外訳」「清世危言」
○「賦」「税全廃」「ヘンリー」「城泉太郎訳」「ジョージ」「進歩ト貧困」ノ訳

- 2・6 清国ト三国同盟ヲ結ヒ
- 5・31 露国ト伊独ト同盟ヲ更新シ
- 8・ 露仏同盟成立

三十七歳

- 12・5 叙従五位

25
1892

- 7・4　洋艦隊ヲ港ニ入レ、神戸ニ碇泊ス
- 7・4　条約改正調印国ノ郵便官吏ハ枢密顧問官ト
- 11・21　第二回帝国議会召集
- 12・18　院議院ニ出席ス
- 12・26　予算議案提出ノ件ニ付テ足尾銅山ノ質問書ニ対スル答弁
- 1・28　日本政府ハ行政公布即チ法律ノ施行ヲ延期シ第四回帝国議会召集
- 2・15　衆議院臨時総選挙執行ノ憲法ノ品川内務大臣ニ対スル辞職勧告ニ応ジ選挙干渉ニ関シ民党ノ大審院長ノ弄ル所ト為リ民党ノ大審院長ノ弄ル所ト為リ民党ノ大審院長ノ弄ル所ト為リ

27

1894

3・28	金玉均ノ上海ニ於テ暗殺サルル
6・3	東学党ノ韓国ニ渡リ請願出兵ヲ為ス
6・7	清国公使ノ袁世凱ニ対シ出兵ニ関スル照会ヲ為ス
6・10	大鳥公使ノ韓国政府ニ対シ内政改革ノ提案ヲ為ス
7・16	日本海軍ノ仁川港ヲ封鎖シ英国商船ヲ臨検ス
7・20	大鳥公使ノ朝鮮国王ニ対シ最後的ノ要求ヲ提出ス
7・25	清国ノ属国ヲ廃棄シ朝鮮ノ独立ヲ宣言ス
7・31	清国ノ韓国ニ対シ宣戦布告ス
8・1	清国ノ絶交ヲ通告ス
8・26	日本ノ韓国ニ対シ内政改革ノ提案ヲ為ス
10・15	条約改正ノ調印ヲ為ス
11・22	大本営ヲ旅順ニ移ス
1・1	第一軍ノ海城ヲ占領ス
1・26	第三軍ノ海城ヲ出発ス
2・6	第一軍ノ海城ヲ出発ス
2・21	第一軍ノ海城ヲ出発ス
5・31	衆議院ノ解散ヲ奏シ内閣ノ禁止ヲ弾劾ス
6・2	勅令ヲ以テ綿糸輸出税ヲ賦課ス
7・1	衆議院ノ可決ヲ経テ綿糸輸出税ヲ廃止ス
7・25	豊島沖海戦ニ於テ清国ノ船舶ヲ撃沈ス
8・17	第一軍ノ平壌ヲ占領ス
9・17	黄海ノ海戦ニ於テ清国ノ艦隊ヲ撃破ス
10・26	第一軍ノ鴨緑江ヲ渡リ九連城ヲ占領ス
11・1	第一軍ノ安東県ヲ占領ス
11・21	第一軍ノ旅順港ヲ陥落ス
11・21	第二軍ノ旅順ヲ占領ス
11・21	第五師団ノ金州ヲ占領ス
11・21	第五師団ノ大連湾ヲ占領ス
11・21	第五師団ノ旅順ヲ陥落ス
11・22	第二軍ノ旅順ヲ占領ス
11・22

29
1896

1・20 京城事変ノ為メ浦梧以下免訴

1・14 六箇師団ヲ十箇師団ニ増加

2・11 朝鮮国王露公使館ニ蒙塵

四十二歳

○「めざまし草」創刊
○「牧ノ方」「桐一葉」評

1・29 ニ現行条約実施ヲ関スル宣言

2・21 ヲ山県有朋ヲ特命全権大使トシテ露帝ニ謁シ

3・24 ノ件公布
ビ造船奨励法及
航海奨励法

3・29 八幡製鉄所官制発布

3・31 台湾総督府条例公布

4・1 棉花輸入関税免除法律施行

4・8 移民保護法実施

4・30 露独仏三国ニ遼東半島提出案ヲ決定シ

5・5 遼東半島還附ノ国際通告

5・8 日清講和条約批准

5・14 ス朝鮮問題ニ関シ露国ト協定

6・5 交換公文ニ代ヘ臨時寺内公使ヲ西園寺大臣ニ任ス

6・8 日露通商航海条約調印

6・19 千島艦隊事件勝利

9・10 韓国王妃殺害事件

10・17 閔妃殺害事件ニ関シ朝鮮公使ヲ帰朝セシム

10・21 弁理公使小村寿太郎ヲ全権ニ任シ朝鮮大臣ニ理事ヲ命ス

10・31 遣清全権ニ任シ清国ト賠償金ヲ協定シ

11・8 遼東半島還附ニ関シ清国ト両国ノ敦誼ヲ重ス

1・20 条約調印ニ付特使ヲ派遣シ

30
1897

1・29 ニ宣戦ノ詔勅ヲ発シ

2・26 日清通商航海条約調印ニ付大隈外相ノ議会ニ提出

3・2 足尾銅山鉱毒地被害民ノ上京ヲ禁ス

3・4 英国ヲ調停ニ米国ヲ清国ニ協定ス

4・8 任特命全権公使ニ叙高等官一等ニ

6・3 清国ハ露国ニ旅順港ヲ租借シ

6・9 露国ハ清国ニ東清鉄道敷設及ビ経営ニ関スル契約ヲ調印シ

6・20 清国ハ沙市ヲ開港シ

6・11 ○「巻」「大日本主義」創刊
○「大日本仏教史」第一
○「日本主義」創刊
○「村上専精」

6・20 叙従四位

6・11 任外務次官

9・8 朝鮮ヨリ帰朝ス

9・8 ○「社会主義ノ必要」「大和魂」「尾崎紅葉」
○「多情多恨」「尾崎紅葉」
○「西祝」
○「たけくらべ」「樋口一葉」
○「葉亭四迷」訳
○「今戸心中」「広津柳浪」
○「東西南北」「与謝野鉄幹」

10・28 臨時政務調査委員ニ被仰付

10・28 ○「十五少年」「森田思軒」訳
○「片恋」「二葉亭四迷」訳

12・12 条約実施準備委員ニ

12・19 外務省所管政府委員ニ

○「二千五百年史」「竹越与三郎」

内閣ニ法制局ヲ置キ

内閣総理大臣ノ辞表ヲ聴許シ

伊藤博文ノ辞表ヲ聴許シ

日本銀行ニ金利ヲ引上ゲ

特別航路奨励法ニ関シ

寺内公使ヲ西園寺大臣ニ代ヘ

外相ノ兼任ヲ解キ

バロン小村寿太郎ヲ外相ニ任ス

朝鮮問題ニ関シ日露ニ覚書ヲ交ス

日清通商航海条約調印

日清通商航海条約調印ニ付

書記官長ノ「山県有朋ヲ特命全権大使トシテ露帝ニ謁シ」ノ電報ヲ発ス

日仏通商航海条約調印

条約改正ノ為メ外相ヲ特命全権大使ニ任シ

日本郵船欧洲航路ヲ開濠洲ニ

米国ノ雑誌「二十六世紀」発行停止

是年日本郵船欧洲航路ヲ開濠洲ニ（3・15）米国ノ雑誌「二十六世紀」発行停止（8・1）各航路ヲ開濠洲ニ（10・3）

11・14 「宮内大臣論」ノ掲載ニヨリ

9・18 松方内閣成立

9・14 法制局ヲ廃シ

9・7 日本銀行ニ金利ヲ引上ゲ

8・31 内閣総理大臣ノ辞表ヲ聴許シ

4・8 移民保護法実施

4・1 棉花輸入関税免除法律施行

3・31 台湾総督府条例公布

3・29 八幡製鉄所官制発布

3・24 ノ件公布
ビ造船奨励法及
航海奨励法

2・21 ヲ山県有朋ヲ特命全権大使トシテ露帝ニ謁シ

1・29 ニ現行条約実施ヲ関スル宣言

31
1898

4・22 権護同業盟所有
2・25 万国差遣工ヲ不ナサシ
2・5 関税定率法実施
12・5 海条約調印
11・6 日墺二国ノ条約洪通商航
8・24 露国公使捧呈ノ福徳
6・18 隈板内閣ノ外務大臣ニ就キ外交ノ大方針ヲ演説シ
5・25 米国ノ対外政策ニ関シ英国ノ抗議ニ対シ排日法案ノ通過ヲ見ル
5・11 上海陸戦隊ノ撤兵ニ関シ公使ノ談判ヲ開キ始メテ撤兵ノ命令ヲ拒絶ス
4・20 駐日本公使ガ我国ニ移民ノ拒絶ヲ通告ス
2・27 哇島軍艦派遣ノ理由ヲ明ニス
サモア島ノ浪速ノ布哇ニ移ル
移民ノ上陸ヲ拒絶ス
定期発表及ビ議会ニ関スル日本ノ主張
露国ノ書記官ヲ朝鮮ニ派遣ス
題目ニ関スル日本ノ主張
院ニ於テ

12・1 清国ノ要求ニ対シ英国ノ支援ヲ請フ
11・1 清国ノ延期ノ要請ヲ拒絶ス
1・12 清国ノ賠償金ヲ支払ヒ
1・1 英国ノ清国ニ対スル要求
12・21 12・23 10・25 8・1 8・2 7・5 4・1 3・31
遠洋漁業奨励
法律ノ公布ニ関シ義和団ノ結成ヲ奨励ス
職工ノ方針ニ関シ自由ノ内閣ノ総辞職
松方内閣ノ金本位ノ実施
衆議院ノ解散ニ関シ政党ノ両党ニ対シ
騒動ノ長野・新潟ノ米価ニ関シ米騒動ノ
メ山形ノ米価ニ関シ米騒動ノ等ニ対シ
開業ノ貴族院ニ於テ
日本銀行ノ設立ニ関シ
会計ノ勅令ニ関シ
労働組合期成会ノ結成
成立ニ関シ
大隈内閣ノ成立ニ関シ
第一次内閣ノ成立ニ関シ
○「日本主義」「高山樗牛」
○「金色夜叉」「尾崎紅葉」
○「小公子」「若松賤子」
○「俳人蕪村」「正岡子規」
○「源をたづぬ」「国木田独歩」
○「杳千里」「島崎孤月」
○内務省ノ「河北新報」（1・17）
○「労働世界」発刊
○「心ノ花」創刊
○「ホトトギス」東京ニテ発刊
○「不如帰」「徳富蘆花」
○「武蔵野」「国木田独歩」
○「歌よみに与ふる書」「正岡子規」
○「一葉舟」「夏草」「島崎藤村」

4・20 米西戦争勃発
3・27 露国ノ借款ニ関シ清国ノ印度ニ対シ
3・6 米国ノ清国ニ対スル借款ニ関シ英国ノ清国ニ対スル
2・11 清国ノ沿岸ニ対スル英国ノ割譲ニ関シ清国ノ江南ニ対スル
11・14 宣戦ノ布告ニ関シ米国ノ教師ニ対スル殺害事件ニ関シ
6・16 米国ノ調印ニ関シ清国ノ教師ニ対スル殺害事件ニ関シ
6・12 仏国ノ雲南ニ対スル両国ノ鉄道ノ敷設ニ関シ
5・27 清国ノ鉄道ノ敷設ニ関シ英国ノ交換ニ関シ
4・17 希臣ノ土地ノ戦争ニ関シ
3・15 言論ノ割譲ニ関シ清国ノ海南島ニ対スル
3・1 東清鉄道会社ノ成立ニ関シ
任レ大統領就

9・6 農商工高等会
8・20 命令ニ関シ調査委員ノ長ニ被ス
7・18 四十四歳
法典調査会委員ニ被ス
布哇ニ移民ノ送還ニ関シ損害ノ賠償ニ関シ
布哇ノ併合ニ関シ

32
1899

4・25 韓国ノ間題ニ関シ朝鮮ノ間題ニ関シ
6・30 ンガ協定ニ関シ外務大臣ノ書記官ヲ西ロー氏ニ調印ス
7・27 重信内閣ノ賠償金ヲ支払ヒ
9・7 布哇ノ我ガ国ニ移民ノ支払ヒ
10・29 ス鉄道敷設ニ関シ
10・
11・8 京釜鉄道敷設ニ関シ日韓ノ条約ニ関シ
12・25 条約ニ関シ日本ノ外務大臣ノ調印ニ関シ
12・26 仏蘭西ノ条約ニ関シ日本ノ外務大臣ノ調印ニ関シ
1・1 関税定率法実施ニ関シ
2・27 英国ノ領事裁判権ヲ撤廃シ
4・11 本国ノ人民ノ排斥ニ関シ
可決シ
特別ノ法案ニ関シ
林董ノ外務大臣ニ任ス
4・18 和会議ニ関シ
命令ニ関シ
任ス
委員ニ関シ
万国ノ平和ニ関シ
差遣ノ公使ニ関シ
命ス
遣ハ
ヘ
1
グ
5・3 ヘグ平和会議ニ関シ
3・10 ヘグ平和会議ニ関シ
4・7 ヘグ平和会議ニ関シ
5・13 ヘグ平和会議ニ関シ
12・20 ヘグ平和会議ニ関シ
10・29 ヘグ平和会議ニ関シ
11・8 ヘグ平和会議ニ関シ
12・10 ヘグ平和会議ニ関シ
1・1 ヘグ平和会議ニ関シ
2・13 ヘグ平和会議ニ関シ
3・9 ヘグ平和会議ニ関シ
5・5 ヘグ平和会議ニ関シ
10・21 ヘグ平和会議ニ関シ
○「ワルトホイットマン」「高山樗牛」
○「外交時報」創刊（2・10）
○「反省雑誌」「中央公論」ト改題
○「樋口勘次郎」「日本ノ下層社会」「横山源之助」
○「統合主義」「新教授法」
○「湯島詣」「泉鏡花」
○「己が罪」「菊地幽芳」
○「審美綱領」「森鷗外」
○「天地有情」「土井晩翠」
○「俳諸大要」「正岡子規」
○「根岸短歌会」「成立」
4・28 清国ノ鉄道ハ英露両国ノ共同ニ関シ
5・18 清国ノ起ル義和団ノ協商ニ関シ
9・6 米国ノ清国ニ対スル一回ノ平和会議ニ関シ
10・11 南阿戦争ノ始マリ
及ビ那威ノ列国ノ機関ニ関シ
4・9—10 借款ニ関シ南鉄道ノ敷設ニ関シ
6・9 英国ノ清国ニ対スル借款ニ関シ
7・1 租借ノ清国ニ対スル英国ノ九龍半島ニ関シ
7・1 海衛ノ清国ニ対スル英国ノ威海衛ノ租借条約ニ関シ
8・12 米国ノ清国ニ対スル締結ニ関シ
12・10 米国ノ清国ニ対スル合併ニ関シ
ヲ正式ニ関シ
米国ノ清国ニ対スル和約ニ関シ
ペキン、フイシリツ等ヲ獲得ス
広州湾租借ニ関シ
9・13 議会ノ臨時議員ニ被ス
命ス
任ス
特命全権公使ニ叙シ
高等官一等ニ叙シ
使節ニ任ス
等米国ニ駐剳ス
米国ニ出発ス
10・12 仰付ル
10・21 四十五歳
賜旭日章

33
1900

5・20	団体メ和解ヲ撫ヲ清外国交ノ北京猖獗ノ欧米渡
4・17	義和団事件ニ関スル罪
1・20	民排斥運動起ヤ日本人ノ英国ヲ領コロンビア 家屋焼却ヲ為ス日本人街全焼イ トロ政府ハ北京ニ招致シタ軍艦ヲ陸戦隊ヲ派遣シ 布哇ニ於ケル支那人ノ移民ニ対スル禁止解除ニ関シ英国ニ抗議ヲ申入レタ 横浜正金銀行ノ開設ニ関シ足尾鉱毒事件ニ関シ政府ハ各国ニ宣言ヲ発シ 牛荘ニ於ケル支那人ノ移民ニ対スル禁止解除ニ関シ英国ニ抗議ヲ申入レタ
12・26	我国ハ列国ニ対シ提案ノ承認ヲ諸国ニ対シ開戦ノ詔書ヲ発シ
12・20	米国ハ提案ノ承認ヲ諸国ニ対シ戦争ノ開始ヲ宣言シ
7・29	第一回万国会議ニ於テ戦争ノ開始ヲ宣言シ
7・17	奥国ハ支那ニ対シ平和ノ回復ヲ宣言シ
6・7	日本ハ支那ニ対シ平和ノ回復ヲ宣言シ ロンドン条約ニ関シ英国ハ支那ニ対シ平和ノ回復ヲ宣言シ 加奈陀ハ支那ニ対シ平和ノ回復ヲ宣言シ 定期船ハ支那ニ対シ平和ノ回復ヲ宣言シ 関税調査委員ハ支那ニ対シ平和ノ回復ヲ宣言シ 裁判管轄権ハ支那ニ対シ平和ノ回復ヲ宣言シ 約款ハ支那ニ対シ平和ノ回復ヲ宣言シ
5・3	加入ノ日英ニ関スル議定書ニ調印シタ 日英ニ関スル議定書ニ調印シタ
3・7	布哇産業組合法公布
3・3	十三紡績会社ト輸出組織ト
2・	主義ノ協賛ヲ会社ト結成シタ
2・13	会社組織ノ改正ニ関シ隊長ト主義ノ研究ヲ突き詰メ 京都ノ人民ハ鉱毒ノ害ニ関シ足尾銅山ノ二千人ノ官吏ニ対シ 被害民ハ足尾銅山ノ二千人ノ官吏ニ対シ
1・4	横浜正金銀行ノ開設ニ関シ牛荘ニ於ケル支那人ノ移民ニ対スル禁止解除ニ関シ
12・25	北海道ノ開拓ヲ同盟会ノ結成ヲ普通選挙ノ期成ヲ
10・	同盟会ノ選挙ヲ
7・	鐘紡併上ノ
7・15	布哇ニ於ケル移民ノ禁止解除ニ関シ
7・7	合衆国ハ布哇ニ於ケル移民ノ禁止解除ニ関シ

○「国文学史十講」芳賀矢一
○「武士道」(英文)新渡戸稲造
○「思ひ出の記」「自然と人生」徳富蘆花
○「高野聖」「泉鏡花」
○「明星」創刊
○「大日本地名辞書」吉田東伍
○「四十年完結」
○「聖書の研究」内村鑑三
○「三姿」小杉天外

3・14	米国ハ公布ニ英国ハ南阿共和国ヲ併合シ自由国オレンヂ国ヲ宣言シ
5・28	清国ハ英国ニ対シ宣戦ヲ布告シ
6・19	清国ハ各国ニ対シ北京城ヲ攻撃シ
6・20	駐清公使ハ退去シ清国ハ独立ヲ宣言シ
6・21	米国ハ金本位制ヲ採用シ
11・16	清国ハ仏国ニ対シ広州湾ノ租借条約ヲ締結シ

2・23	四十六歳
4・12	米国ハ付属諸島ヲ併合シ駐清公使ヲ召還シ
4・22	清国ハ露国ニ対シ旅順ヲ租借シ
5・24	清国ハ仏国ニ対シ広州湾ノ租借ヲ拒絶シ
10・26	露国ハ帰国シ清国ハ露国ニ対シ満州ノ撤兵ヲ要求シ
12・1	露国ハ清国ニ対シ撤兵ヲ拒絶シ

34
1901

3・25	露国ハ清国ニ対シ密約ヲ抗議シ
6・2	外務大臣(兼)荒助
7・5	布哇ニ於ケル移民ノ禁止解除ニ関シ
7・6	第五師団ニ動命ニ接シ
8・14	各国ニ聯合シ北清ノ事変ニ関シ
10・19	外務大臣ニ加藤入ル
10・29	英国ハ独逸ト協定ニ加ハル
12・14	万国工業同盟所有ノ
12・24	北清事変ニ関シ連名ニ加ハル
3・12	清国ハ露国ニ対シ密約ヲ抗議シ
6・11	山縣有朋ハ北京ニ於ケル各国ノ軍隊ニ対シ公使館ヲ警護シ
7・31	第五師団ニ動命ニ接シ
9・15	立憲政友会ハ伊藤博文ニ対シ憲政ノ発達ヲ
12・19	伊藤博文ハ内閣ヲ組織シ
12・21	収賄ノ疑ヒアリ
3・29	衆議院ハ政府ニ対シ法案ヲ否決シ
5・1	第三次伊藤内閣ハ法案ヲ否決シ
5・10	貴族院ハ増税ニ関シ勅語ヲ賜ハリ
3・24	署名(兼)副署ヲ拒絶シ
3・30	酒税増徴ニ関シ
4・3	二十六新聞ハ法案ニ対シ
5・10	親会社ハ大臣ニ就任シ

○「帝国主義」幸徳伝次郎
○「美的生活論」「文明批評家トシテノ文学」
○「高山樗牛」
○「一年有半」中江兆民
○「むらさき」与謝野鉄幹
○「みだれ髪」与謝野晶子
○「無弦弓」河井酔茗
○「社会問題解釈法」安部磯雄

8・15	各国連合軍北京ヲ攻撃シ
9・1	英国ハ南阿共和国ヲ併合シ
11・11	成立協定ニ関スル英国ハ独逸ト協商ヲ
12・24	北清事変ニ関シ連名ニ加ハル
12・	露国ハ清国ニ対シ撤兵ヲ要求シ
1・1	各国ハ清国ニ対シ撤兵ヲ要求シ
1・22	豪州聯邦成立ヲ宣言シ
2・25	女王ヴィクトリヤ皇帝死ス
2・	U・S・S・製鋼会社ハ露国ニ対シ抗議ヲ申入レタ
3・4	米国ハ露国ニ対シ撤兵ヲ要求シ
4・5	露国ハ清国ニ対シ撤兵ヲ要求シ
12・27	付属地ヲ清国ニ返還シ
12・19	露国ハ清国ニ対シ撤兵ヲ要求シ

1・6	四十七歳
1・20	北京ニ於ケル各国ノ軍隊ニ対シ撤兵ヲ要求シ
8・7	叙正四位ニ任シ
9・19	帰朝シ清国ニ対シ撤兵ヲ要求シ
9・21	任ニ外務大臣ニ帰朝シ

35

1902

9・21	米国大統領マッキンレー狙撃サル
9・6	清国皇族載振ヲ英国太子ノ為ニ盟国ヲ提案シ日英同盟ノ成ル
11・6	英国外相ハ林公使ニ対シ伊藤博文ヲ出ス
11・28	伊藤博文ヲ使ハシ英国ニ提案ス
12・7	日英同盟ノ成立ニ関シ元老会議
1・30	第一回日英同盟調印
4・19	小松宮彰仁親王ノ為ニ皇帝ノ戴冠式ニ参列ス
6・14	北京出発ノ公使ハ清国ニ対シ宣戦ス
8・28	日露ノ開戦ニ関シ英国ニ提案ス
8・29	清国ノ改訂ニ関スル調印ニ対シ日露ノ協商成立
1・25	伊藤博文欧米ヨリ帰朝
2・27	日本興業銀行ノ足尾銅山ノ設立ニ関シ鉱毒事件ニ関シ足尾鉱毒ノ被害民ノ上京ヲ如何ニ
3・5	足尾鉱毒ノ被害民ノ上京ヲ如何ニ
3・13	二六新報主催ノ労働者親睦会ニ会禁止ヲ命ス
3・25	公布第四次商業会議所法
3・30	一回国会ノ開催
6・21	桂内閣ノ成立
6・2	日比谷公園ノ禁止
11・18	八幡製鉄所ノ作業ニ関シ星亨ノ刺客ノ為ニ殺サル
12・10	田中正造ノ直訴事件ニ関シ足尾鉱毒ノ被害ニ関シ
5・20	安部磯雄、片山潜等ノ社会民主党ノ結成ニ関シ
2・25	許西寺内閣ノ成立ニ関シ博文ノ辞職ヲ聴ク
2・1	「龍土会」ノ創立
2・1	「倫理と宗教との関係」井上哲次郎
2・1	「宗教的真理の性質」綱島梁川
1・	「日露人ノ上ハ如何ナル人ゾ」高山樗牛
4・8	「懶斎書屋俳句帖抄」
4・29	「黒潮」正岡子規
4・29	「徳富蘆花」重右衛門の最後」田山花袋
6・28	「地獄の花」永井荷風
6・28	「即興詩人」完結・森鷗外訳
7・12	「人道の戦士」矢野文雄
7・12	「社会主義の父カール・マルクス」西川光二郎
9・14	是年国際ムシ・立デアル大統領ミ1ニトナルト1ズベルト大統領ユ1ナ1ト成
9・6	「みをつくし」「詩聖ダンテ」上田敏訳
1・	シベリア鉄道完成
2・1	米国ノ侵入ニ対シ日露ノ開戦ニ関シ宣言ス
3・16	露国ノ満洲撤兵ヲ完了ス
4・8	三期ニ分チテ撤兵ヲ約ス
4・29	米国ノ排日法案ニ関シ支那ノ抗議ヲ拒ス
6・28	墺国ノ過激派ノ暗殺ニ関シ伊太利ノ更新ヲ拒ス
7・31	同盟ノ成立ニ関シ独逸ノ叙従三位
2・27	日露ノ開戦ニ関シ大山元帥ノ叙勲一等ニ関シ依仁親王ノ功績ニ関シ特旨ヲ以テ授勲ス
2・27	叙勲一等授旭章ノ綬ヲ男爵ニ授ス

四十八歳

36

1903

9・1	清国皇族載振ヲ英国太子ノ来朝ニ際シ国賓ノ礼ヲ以テ遇ス
12・16	清国ノ皇族載振ヲ英国ニ提案シ日露ノ開戦ニ関シ英国ノ調停ヲ拒ス
12・28	地租増徴継続ノ案ヲ否決シ(12・16)ノ為メ衆議院解散ス
4・13	国定教科書公布ス
4・20	第五回内国勧業博覧会ニ臨ム
4・21	伊藤博文・桂等ノ京都ニ対シ山県・無隣庵ニ対シ政府ノ方針ニ関シ協議ス
5・25	政府ノ妥協案ニ関シ桂内閣ノ成立ニ会ス
6・24	東京帝国大学ノ授業ヲ対露強硬ニ撤回シ七教授ノ意見ヲ発表ス
7・1	桂首相ノ伏見博文ヲ枢密顧問ニ任ス
7・13	伊藤博文ヲ内閣ノ総理ニ奏ス
10・5	院長ニ対シ政治上ノ意見ヲ求ム
10・3	依田佐久間ニ対シ辞職ヲ勧ム
10・8	第一回日露ノ開戦ニ関シ英国ノ調停ヲ拒ス
10・28	清国ノ海外ニ対シ警告ス
12・10	三利彦等ノ幸徳秋水ヲ内閣ニ推薦ス
12・	者万名船同盟罷工ノ三千人ノ職工ニ対シ開戦ノ意ヲ表ス
12・	衆議院ノ議長ニ選ハル
12・	衆議院ノ議長ニ選ハル
12・	衆議院ノ議長ニ選ハル

37 1904

1・1 米国陸軍卿タ
1・1 小フト来ロ朝ゼ
1・13 修会正談案我ガ山ヲ借交款付終ン
1・15 大成功鉱
1・20 英ニ対シ独仏ニ関スル露四国
2・1 露ヲ国ノ宣戦布告絶
2・2 日露国交断
2・6 絶ヲ国ニ対シ米国ノ仲裁第交国
2・11 渉ニ英ニ対シ独仏ニ関スル露四国
2・23 使ロ露ト日露ノ戦争ニ関シ日露ノ協約調印ス
2・10 日露ノ戦争ニ関シ日露ノ協約調印ス
2・11 六カ国ノ協約調印ス
5・7 公債一千万英磅募集
8・22 発行ス
8・29 印度ノ新聞
11・10 韓国ノ千万英磅募集
2・23 韓国ノ議定書調印
5・7 東京ノ協約調印
1・20 露国ノ千万英磅募集
1・15 ロシアノ千万英磅募集
1・13 ロシアノ千万英磅募集
1・4 米国ノ陸軍卿ヲ
1・1 米国ノ陸軍卿ヲ
1・1 米国ノ陸軍卿ヲ
1・1 米国ノ陸軍卿ヲ
2・4 対露交渉
2・9 仁川港ニ於テ露艦ヲ撃破シ
3・13 平壌ノ外国人ニ対シ
3・20 戦時税ニ関スル
4・1 露国ノ戦時税ニ関スル
5・11 蔵相ノ公債ニ関スル
7・8 ポーツマス条約ニ関シ
8・14 ポーツマス条約ニ関シ
12・16 野戦砲ヲ広島ニ
1・14 塩専売法ヲ
1・14 旅順ノ開城
1・14 旅順ノ開城
1・14 旅順ノ開城
2・4 御前会議ヲ開催
2・4 御前会議ヲ開催
2・4 御前会議ヲ開催
2・4 御前会議ヲ開催
2・9 対露交渉ヲ中止
2・9 対露交渉ヲ中止
2・9 対露交渉ヲ中止
2・9 対露交渉ヲ中止
3・20 戦時増税案ニ関シ
3・31 選挙法改正ニ関シ
4・1 露国ノ戦時税ニ関スル
4・1 露国ノ戦時税ニ関スル
4・1 露国ノ戦時税ニ関スル
4・1 露国ノ戦時税ニ関スル
5・1 米国ノ陸軍卿ヲ
5・1 米国ノ陸軍卿ヲ
5・1 米国ノ陸軍卿ヲ
5・1 米国ノ陸軍卿ヲ
5・5 公債ニ関スル
5・11 蔵相ノ公債ニ関スル
5・11 蔵相ノ公債ニ関スル
5・11 蔵相ノ

39
1906

1・7	使館在伯明ヲ林大華府使館公
1・7	高明外務大臣加藤
1・2	寿太郎外務大臣小村
12・22	印関日ス清任ル間命条満約洲調ニ文公ヲ初伊代藤博布
12・21	ビ韓理国事統官監庁制及
12・2	恪ヲ大倫使敦館公ニ使行館昇
12・24	在千第方五磅回外債五
11・17	調日印韓保護条約
11・4	兼外務大臣桂太郎臨
11・2	任テ全命韓権国大使ニ博文差ト特遣シ命
10・18	伊藤博文小村寿太郎外務大臣
10・12	南満鉄道交換ニ関シ覚書
10・12	桂約調マ首相印ント間ハリ
1・7	使館在伯明ヲ林大華府使館公
1・7	外務大臣加藤
1・2	寿太郎外務大臣小村
12・22	印関日ス清任ル間命条満約洲調ニ文公ヲ初伊代藤博布
12・21	ビ韓理国事統官監庁制及
12・2	恪ヲ大倫使敦館公ニ使行館昇
12・24	在千第方五磅回外債五
11・17	調日印韓保護条約
11・4	兼外務大臣桂太郎臨
11・2	任テ全命韓権国大使ニ博文差ト特遣シ命
10・18	伊藤博文小村寿太郎外務大臣
10・12	南満鉄道交換ニ関シ覚書
10・12	桂約調マ首相印ント間ハリ
2・1	韓国統監府開式
1・28	成立日本社会党結
1・7	第一次西園寺内閣
○「破戒」島崎藤村	○「文章世界」創刊 ○文芸協会設立 ○肇 ○「社会主義評論」河上肇 ○「早稲田文学」再刊
4・18—20	大地震 米国桑港
1・16—4・7	議題ヲ議ヘシモロツコ問題 ○ロシア会
4・19	授旭日桐花大
1・9	任枢密顧問官
1・7	依願免本官
1・1	清国ヨリ帰朝
	五十二歳

1・29	ニ在リ昇格ヲ大巴里公使館ニ使館昇
2・28	外相加藤高明 鉄道国有問題ニ関シ辞表提出
3・	非常特別税法 改正、非常特別税ヲ戦後ニ継続
3・15	別税ヲ継続
3・31	動産税法 鉄道国有法、京釜鉄道買収
3・	威海衛回収、近市民大会示
3・	朝鮮法公布
3・	綿布輸向ノ日本
6・30	青山練兵場ニ立ツ
6・7	南満鉄道株式会社
8・1	関東都督府官制
11・10	大制定 日本社会党結成
11・26	式南満洲鉄道株式会社
2・28	○「運命」国木田独歩 ○「坊つちやん」『草枕』夏目漱石 ○「千鳥」鈴木三重吉 ○「神秘的半獣主義」岩野泡鳴 ○「囚はれたる文芸」島村抱月 ○「社会主義研究」創刊 ○「堺利彦主筆 ○「戦悔」木下尚江 ○「進化と人生」丘浅次郎 ○「肉弾」桜井忠温
5・1	パリ、カルヴ、労働者戒厳令布
5・20—6・6	露仏国下露国憲法発布
7・23	第三回イリオデジャネロ汎米会談
8・20	乱キューバ叛
9・	露国ストルイピンノ農業改革
12・10	米国ルーズベルト受賞
6・6	使英国駐剳大使、任特命全権
7・18	被仰付英国憲法発布ニ就ク
8・16	倫敦着
	綬章

年表

3・14	○第二次「平民新聞」発刊、四月発禁
4・28	北海ニ関スル英国言成立独逸瑞丁参加
6・15	和蘭会議ヘ開ク植民地ニ和第二回万国平和会議ヘ第一回万国ニ
7・6	韓国皇帝至密使ヲ平和会議ニ派遣ス
7・19	○「我国体と基督教」加藤弘之郎
7・31	韓国ノ独立ノ詔勅ヲ発シ韓国軍隊ノ解散ヲ命ス
9・26	布哇ニ移民ヲ送ル
10・14	言論ノ自由ヲ制限ス
12・15	日本ニ帝国議会ヲ開ク
3・3	哈爾賓ニ総領事ヲ置ク
4・10	日本館設置ノ件ニ関スル日韓協約調印ス
4・15	清国ト敷設鉄道ニ関スル吉林協約ヲ調印ス
4・15	劃定ノ境界ニ関スル日清協約ヲ調印ス
4・19	各国ニ対スル鉄道敷設及ビ借款ノ件ヲ通牒ス
5・30	大連海関ヲ開ク
6・10	日本ハ清国ニ対スル協約ヲ調印ス
7・17	仏国ハ清国ニ対スル協約ヲ調印ス
7・24	韓国ニ対スル第三次協約ヲ調印ス
7・28	日本ハ清国ニ対スル漁業協約ヲ調印ス
9・28	米国ト第一回日本ト調印ス
10・3	哈爾賓ニ総領事ヲ置ク
10・18	万国平和会議ニ関スル日本ト調印ス
10・29	警察事務ニ関スル日韓協約ヲ調印ス
1・25	外務省布哇移民停止ヲ通牒ス
2・5	辰丸清国港湾ニテ武器密輸入ノ疑アリ抑留ス
2・18	日本ハ清国ニ対スル協約ヲ調印ス
3・15	清国ト民間ニ関スル事件ヲ協約ス
4・10	界標太平洋島嶼ニ関スル日露間ノ定書ヲ調印ス
5・1	駐ヲ露日本公館ニ陳情書ヲ提出ス
5・5	昇格ヲ米国ニ伸ス
5・11	条約ノ調印ニ関スル日米ノ排ダコタ州ノ移民ニ対スル抗議ヲ行フ
7・14	米国ト殖民ニ関スル日本ノ抗議ヲ撤回ス
8・27	寺内外務大臣ト小村外務大臣（兼）ト会見ス

年表

1・21	株式市場暴落
2・4	足尾銅山ニ開始ス
2・7	足尾銅山ノ暴動ニ関スル高崎山ノ暴徒ト隊伍ヲ組ム
3・17	出動ノ高等警察ヲ増設ス
3・26	貴族院ニ団体等ノ処置ヲ決ス
4・22	認可ノ婦人団体ノ集会ヲ禁ス
4・24	政治ノ改良ヲ解散ス
4・29	北海道ニ坑夫ノ暴動ヲ鎮圧ス
6・6	別子銅山ノ暴動ニ関スル軍隊ヲ出ス
7・	興業銀行ノ募債ニ応ス
9・18	陸軍十九師団ヲ二師団ニ減ス
10・1	結社ノ集会ニ関スル法律ヲ施行ス
12・15	鉄道国有ノ終ニ伊藤韓国統監ト皇太子トノ会見ヲ終ル
1・13	成立ノ第二次桂内閣ニ成立ス
7・14	辞職ヲ西園寺内閣ニ総辞職ス
7・3	杉山栄三郎ヲ検事総長ニ任ス
6・22	川上旗二郎ヲ大西郎ニ代ル
4・20	社会主義者ヲ全国ニ通ス
4・19	台湾縦貫鉄道ヲ中央線ニ編入ス
4・12	害虫ノ多ク損ス
3・3	兵庫ノ脱走人ヲ捕ヘ東京ニ送ル
2・4	第一次桂内閣ニ成立ス
2・18	対清国ト広東ニ商品ボイコットヲ盛ンニ
2・25	東京ニ於テ三名ノ集会ヲ禁ス
2・25	案件ニ関スル決議ヲ可決ス
2・25	油税ノ増徴ヲ決ス
2・25	糖税ノ増徴ヲ決ス
2・25	酒税ノ増徴ヲ決ス
2・25	石炭ノ増徴ヲ決ス
2・25	衆議院ニ於テ六倍ニ増徴ス（会社株式募集ノ件ニ関スル東洋拓殖会社ノ発起人ニ対スル申込ノ件ニ関スル戊申詔書ノ渙発ニ関スル件）
4・4	○「国民性十論」芳賀矢一
4・28	○「国史の研究」黒板勝美
7・4	○「アララギ」創刊
7・4	○「明星」廃刊
9・16	○「一兵卒」田山花袋
9・16	○「何処へ」正宗白鳥
9・16	○「文芸上の自然主義」島村抱月
10・5	○「春」島崎藤村
10・5	○「生」田山花袋
10・5	○「あめりか物語」永井荷風
10・7	○「三四郎」夏目漱石
10・7	○「新世帯」徳田秋声
11・15	是年英国ニ於テ全国的鉄道ヲ即チ国有ニ成ス
11・15	宣統帝ヲ合併シ清国ノ太后ヲ廃ス
11・15	ゴベルギコンゴ・イヘナヲ併ス
11・15	清国ノ宗徳ヲ廃ス
11・15	合衆国ハ清国ニ宣言ス
11・15	英国ハ清国ニ対スル宣言ヲ独逸ニ対スル宣言ニ代ル
11・15	立憲政治ヲ実施ス
11・15	英国ハ清国ニ対スル宣言ヲ独逸ニ対スル宣言ニ代ル
11・15	英国ハ清国ニ対スル宣言ヲ仏蘭西ニ対スル宣言ニ代ル
11・15	英国ハ清国ニ対スル宣言ヲ瑞西ニ対スル宣言ニ代ル

42 1909

- 1・9 米国カナダ国
- 1・12 電車賃値上反対東京市民大会
- 1・13 香港於ケル日本人ノ排斥問題再燃ス
- 2・22 韓国内閣ノ大臣ニ日本人ノ入閣ヲ内ス
- 2・26 国際議決ノ阿片会議ニ関スル印度・タフ
- 5・10 ハワイ邦人労働者ノ賃銀ノ要求ヲ罷業ス
- 6・5 新聞紙法ノ新聞紙公布ニ例ス
- 6・6 等シ拘引ス栗原代議士ニ関シ
- 6・9 聯隊都宮第五九連隊ノ脱走兵士集団
- 6・14 韓国ノ統監伊藤博文ヲ枢密院ニ監
- 7・12 韓国ノ司法及内託ニ関スル事務ヲ委ス
- 7・2 振旦国ノ子参礼使ニ答ヘ国交ヲ提携ス
- 10・18 米国ノ太平洋ニ寿太郎ノ洋艦ヲ浜入港ス
- 11・12 日清間ノ吉長鉄道ニ関スル新奉天ノ及ビ満鉄ノ横断ニ関スル
- 11・13 文学ノ著作物ニ関スル文学的及ビ美術的ノ保護ニ関スル条約ノ締結
- 11・30 太平洋ノ現状ニ関スル維持方面ニ協ス
- 10・18 修正調印ノ約款ニ関スル日本国ノ高平協ス

- 1・12 ○「麵麭の略取」クロポトキン著、平民社訳
- 1・12 ○「自由劇場」第一回公演
- 1・12 ○「スバル」創刊
- 1・12 ○「煙草」森田草平
- 1・12 ○「ボルクマン」
- 1・12 ○「溺れる者は泡を掴む」野口寧斐
- 1・12 ○「ふらんす物語」永井荷風
- 1・12 ○「田舎教師」田山花袋
- 1・12 ○「邪宗門」北原白秋
- 1・12 ○幸徳秋水、平民社ノ「自由思想」発禁

- 1・9 米国ノ寿太郎ノ洋艦ハ浜入港ス
- 1・12 日清間ノ吉長鉄道ニ関スル新奉天ノ及ビ満鉄ノ横断ニ関スル
- 1・13 香港ノ於ケル日本人ノ排斥問題ニ関スル
- 1・25 会洋航路補助ノ遠洋航路補助ニ関スル
- 3・25 法発布ノ公布ニ関スル
- 4・14 種痘法ノ件ニ関スル
- 4・15 日糖事件ノ代議士ニ関スル
- 5・6 新聞紙法ノ公布ニ関スル
- 5・6 止都宮第五九連隊ノ脱走兵ニ関スル
- 5・6 字ノ聯隊ノ脱走兵ニ関スル
- 5・6 会洋航路補助ノ遠洋航路補助ニ関スル
- 5・6 東京市民大会ノ反対ニ関スル
- 5・6 東京市民大会ノ反対ニ関スル
- 5・6 東京市民大会ノ反対

44

1911

4・3 日英通商航海決

3・23 所有禁止ノ可地院

2・21 米国ノ加州上土

1・3 条約成立

9・23 議条約締結ヘ法会

8・22 調印ス韓国併合ノ日韓条約ノ関係

7・17 条約ヲ以テ国ノ通商航海ニ廃棄ス

7・4 英国ノ独伊通商等ニ関シ七年ケ

7・1 旅順回航ノ日露協約

6・24 日韓協約ノ調印ニ関シ韓国ノ外交ノ事務ヲ委託ス

5・22 韓国ノ財政ノ整理ニ関シ日本ノ銀行ノ設立ヲ命ス

5・14 京都ニ日英博覧会開催

貝勒来朝

3・13 立憲国民党結成

4・13 有法公布

4・15 正税公定率ノ改正

5・30 陸軍大臣ニ正式ノ兵役ヲ課スル件

6・1 ヲ所謂大逆事件ノ水戸ヘ幸シ秋水等十二人ノ死刑ヲ執行ス

8・29 韓国併合ニ関シ韓国ノ統治ヲ日本ニ委ス

10・1 第六次ノ内閣ニ任ス

10・1 短期国債ノ発行ヲ命ス

1・15 帝国議会ノ開会ニ当リ詔書ヲ渙発ス

1・29 極東ノ平和ニ関シ日本ノ国是ヲ宣明ス

2・11 万世一系ノ皇位ヲ践ミ内閣ノ組織ヲ命ス

1・24 大逆事件ノ判決ニ関シ天皇ノ恩赦ヲ宣ス

○「一握の砂」石川啄木

○「土」長塚節

○「新思潮」再刊

○「刺青」谷崎潤一郎

○「酒ほがひ」吉井勇

○「自然主義汎論」中沢臨川

○「日本歌学史」佐々木信綱

○帝国劇場開場

○「南朝正統論」笹川種郎

○「南北朝問題と国体の大義」姉崎正治

○「善の研究」西田幾太郎

○「本居宣長」村岡典嗣

○「青鞜」創刊

○「朱欒」創刊

7・19—8・30 第四回汎米会議

10・5 葡国共和制成立

4・15 清国弊制改革借款成立（英米・仏・独）

6・22 英国立式皇帝戴冠

5・8 英清阿片協定成立

9・29 伊土開戦

7・1 独軍アガディール上陸

1・26 叙二位

1・26 葉山ニ移ル

9・30 侯爵依願免本官

8・30 勲功特授

4・21 依

五十七歳

6・24 条約調印

7・7 日露協約調印

7・12 日伊通商航海

7・13 第三回日英同盟協約調印

8・19 日仏通商航海条約調印

8・30 外務大臣（兼）林董

9・2 清国ノ延長ニ関シ日本ノ協約ニ調印ス

10・16 外務大臣内田康哉

11・26 北京ノ護明

3・18 米国ノ獣保護ニ関シ日露ノ約款ニ調印ス

7・29 米国ノ及ビ行フ所ノ税引

8・30 第二次ノ内閣成立

10・25 片山潜等ノ社会党組織（同日禁止）

3・29 工場法施行ノ件、民数千名ノ埼玉県堤防工事ニ関シ庁ノ立ノ農情ニ陳ス

11・ 尹致昊等ノ二名ノ陰謀発覚ニ暗殺ノ総督ノ三名ノ止（十七日）

12・31 東京市電ノ名一日ノ罷業ノ解決ノ翌六月ノ一日ノ千

○「徽」徳田秋声

○「雁」「妄想」森鷗外

○「和泉屋染物店」木下

○「本太郎」

○「少年」谷崎潤一郎

○「修善寺物語」岡本綺堂

○「お目出度き人」武者小路実篤

○「日本鉱業誌」東京鉱山監督局編

10・10 清国ノ武昌ニ革命第一革命又辛亥革命ト称ス

11・5 キリスト、ポリ、ナイ、ガ、ポ、ト、リ、ス国ヲ併合シ宣言ス

12・2 清国ノ革命軍ニ南京ヲ占領ス

12・29 清国ノ南京ニ革命政府ヲ樹立シ、孫文ヲ臨時大総統ニ就任ス

是年 米国フォード自動車大量生産開始